

国営環境保全型かんがい排水事業

別海北部地区



地域の概況

本地区は、北海道野付郡別海町の北部に位置し、広大な土地資源を活用した大規模酪農地帯であるとともにサケマス漁を中心とした水産業も盛んに行われています。

内陸部では、その大部分が草地として利用され、牧歌的な農村風景を形成し、下流域には野付湾とその向こうには国後島や色丹島を望む風光明媚な自然に富んでいます。



事業目的

地区内の用水施設は、根室区域農用地開発公団事業（S58年度事業完了）等により整備されています。

しかし、造成後約30年経過し老朽化が進とともに、飼養形態の変化に伴い用水施設の通水能力不足が生じ、効率的なかんがい用水の利用に支障を来している状況にあります。一方、降雨に伴う湛水により、作物生産量の低下が生じています。また、土砂や肥料成分の流出が河川水質へ影響を及ぼす一因となっています。

このため、本事業により用水施設の整備を行い、効率的なかんがい用水の利用を図るとともに、水質浄化機能等多面的な機能を有する排水施設の整備を行い、農地の湛水被害の解消を図り、農業生産性の向上に資するとともに、併せて環境保全型農業を推進します。



事業概要

- 関係町 野付郡別海町
- 受益面積 29,411ha
- 工期 平成24年度～
- 主要工事 用水路 514条 468km
排水路 13条 22km
- 主要作物 牧草



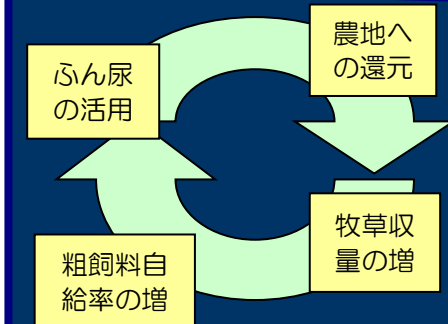
別海町農業の現状と課題

- 別海町は北海道の東部に位置し、オホーツク海に面する日本一の酪農の町です。ここ別海町では大規模な酪農が営まれ、別海町の人口の6倍になる約110,000頭の乳用牛が飼育され年間搾乳量は、東京都民が1年間に飲む量に相当する牛乳が搾られています。
- 生産規模の拡大に伴って、家畜排せつ物の発生量が増加し、排せつ物の適正な管理や活用が求められています。
- しかし、農家戸数の減少と農業従事者の高齢化が進む中で、規模拡大や家畜排せつ物処理等に伴う労力不足や担い手の確保が課題となっています。
- 一方では、排水路の断面不足によって、農地の湛水被害が生じており、生産性が低下しているため排水整備が必要となっています。
- また、酪農生産による肥料成分等の負荷物質が流出し、周辺河川や海域等への水質の影響を指摘されています。

別海町の緑多い森林や清流河川、貴重な動植物など、豊かな自然環境を守り「日本一豊かな酪農郷」を創る第1歩として”国営環境保全型かんがい排水事業”では・・・

地域で発生する資源(家畜排せつ物)の高度利用を図り、購入資源(飼料・肥料)を削減して地域資源の循環を基本とした環境保全型農業を推進します。

かんがい施設を利用した資源循環



- 家畜ふん尿とかんがい用水を混合し、かんがいシステムにより効率的に農地還元し、生産性の向上を図ります。
- かんがい効果により牧草収量が増加し、粗飼料自給率の向上を図ります。
- 有機質肥料である家畜ふん尿を有効に農地還元することにより、化学肥料の削減が図られます。
- これらから農業経営の安定と環境保全型農業が展開されます。

排水整備に併せて水質浄化機能として、土砂緩止林、遊水池、排水調整池を設置し、下流への負荷物質の流出を防止し、河川水質や動植物の生息環境の改善を図ります。

排水路の整備による水質改善



農地の排水被害解消と併せて水質浄化機能を有した排水路構造により水質改善を図ります

